

琉球大学学術リポジトリ

「概要」 満洲軽金属製造株式会社

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/37897

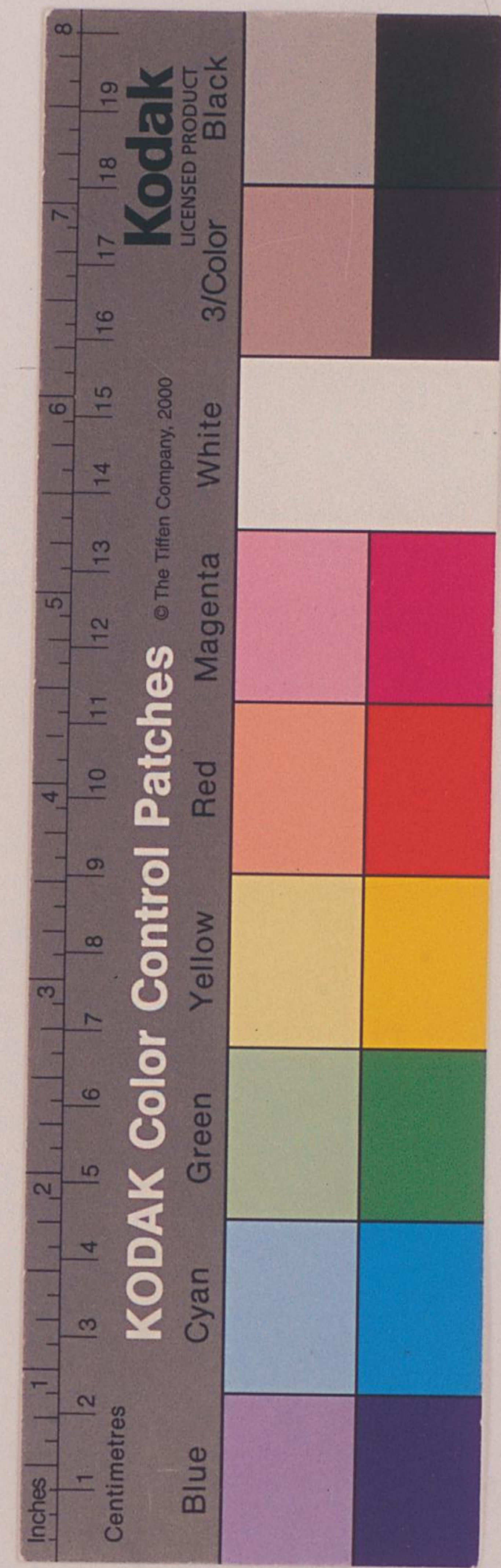
矢内原忠雄文庫

史料名	「概要」満洲軽金属製造株式会社
封筒番号	405
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 17 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：405

史料名	「概要」満洲軽金属製造株式会社
資料形態	冊子／四六判
枚数	10
页数	20
縦 (cm)	18.7
横 (cm)	12.7
厚さ (cm)	
書誌的事項	満洲 見返しに名刺一枚、挟み込み 今泉分類記号：P



目次

一 位 置

二 資 本

三 役 員

四 營 業 種 目

五 目 的 及 沿 革

六 我 社 ノ 現 況

七 原 料

八 製 造 工 程 圖

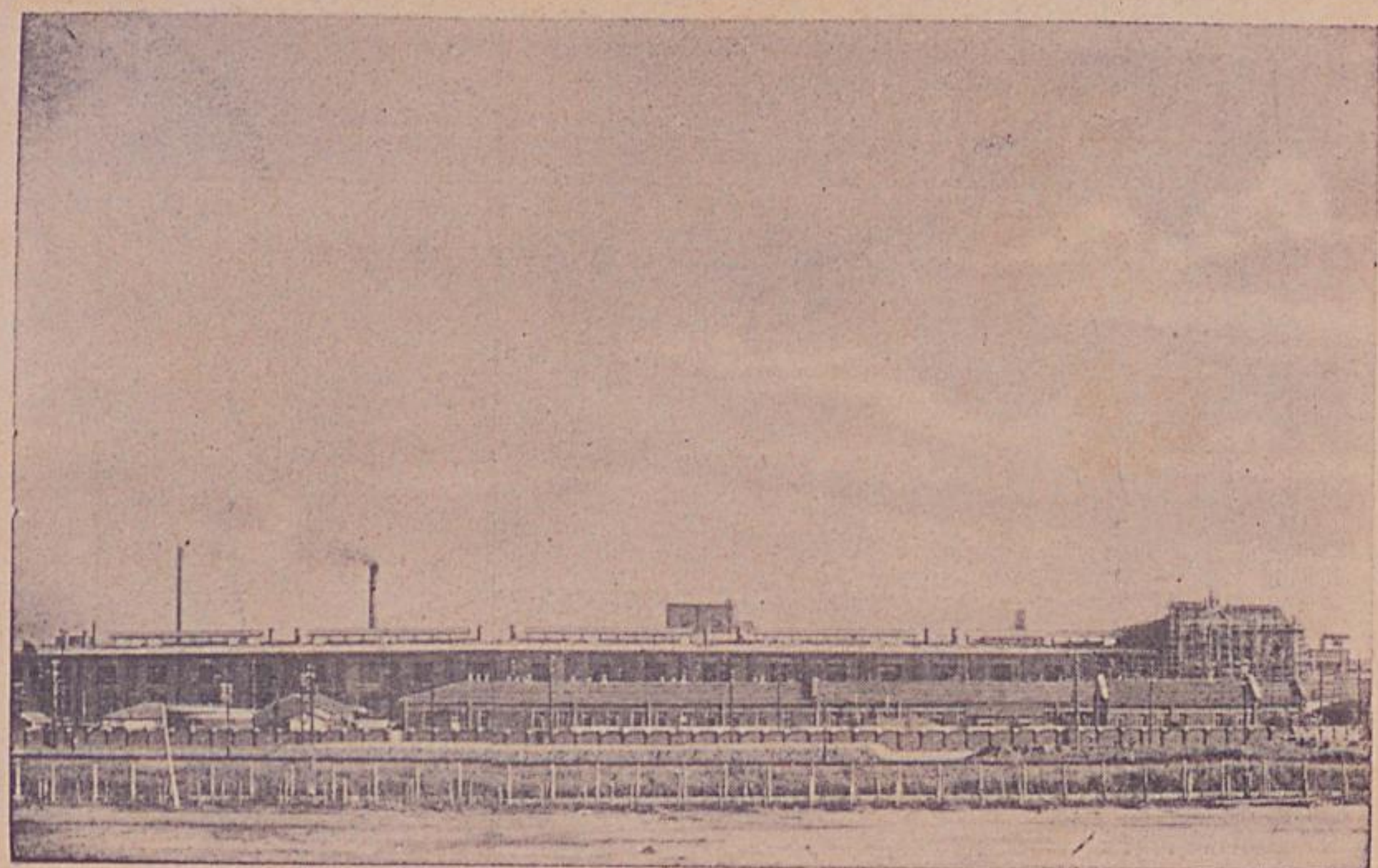
九 生 産 品

十 福 施 設

十一 養 成 機 關

十二 體 育 施 設

十三 關 係 會 社 設 置



本社工場一ノ部

本社及工場	一 位 置	二 資 本
本 社	撫順市山木町	八 千 萬 圓
撫順製造部	撫順市山木町	
安東建設事務所	安東市四道溝	
各地事務所	新東京特別市大田街	
	大連市山縣通	
	東京市芝罘區日野町	
	東京市芝罘區日野町	
	大阪市東區野村	
	大阪市東區野村	

(全額拂込済)

中 島 守 一

滿洲輕金屬製造株式會社
 總 部 撫 順 市 山 木 町

挿入文書

中
島
守
一

滿洲輕金屬製造株式會社
關東 阿 野 原 市 山 本 町

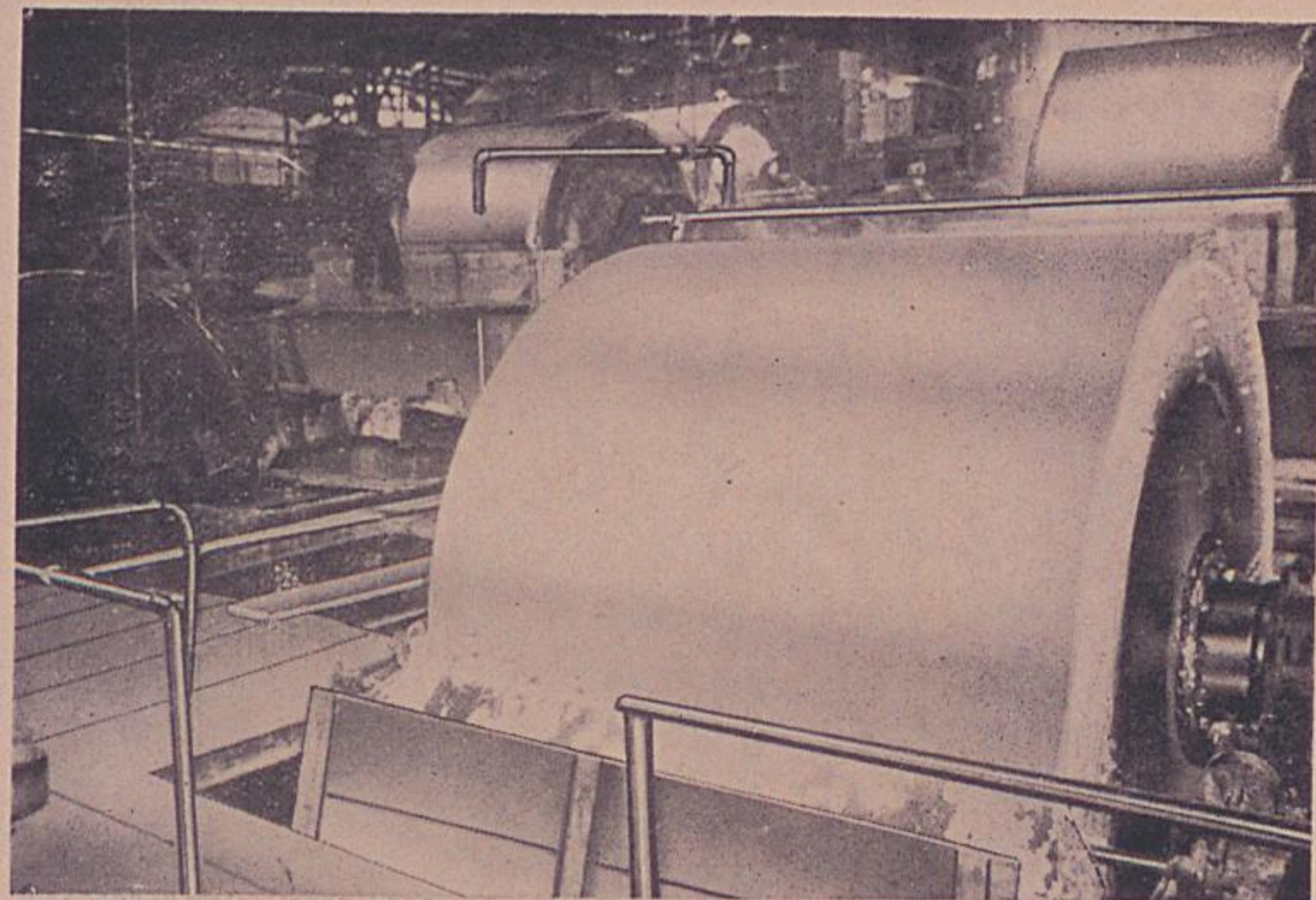
挿入文書

挿入文書



説明 ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています



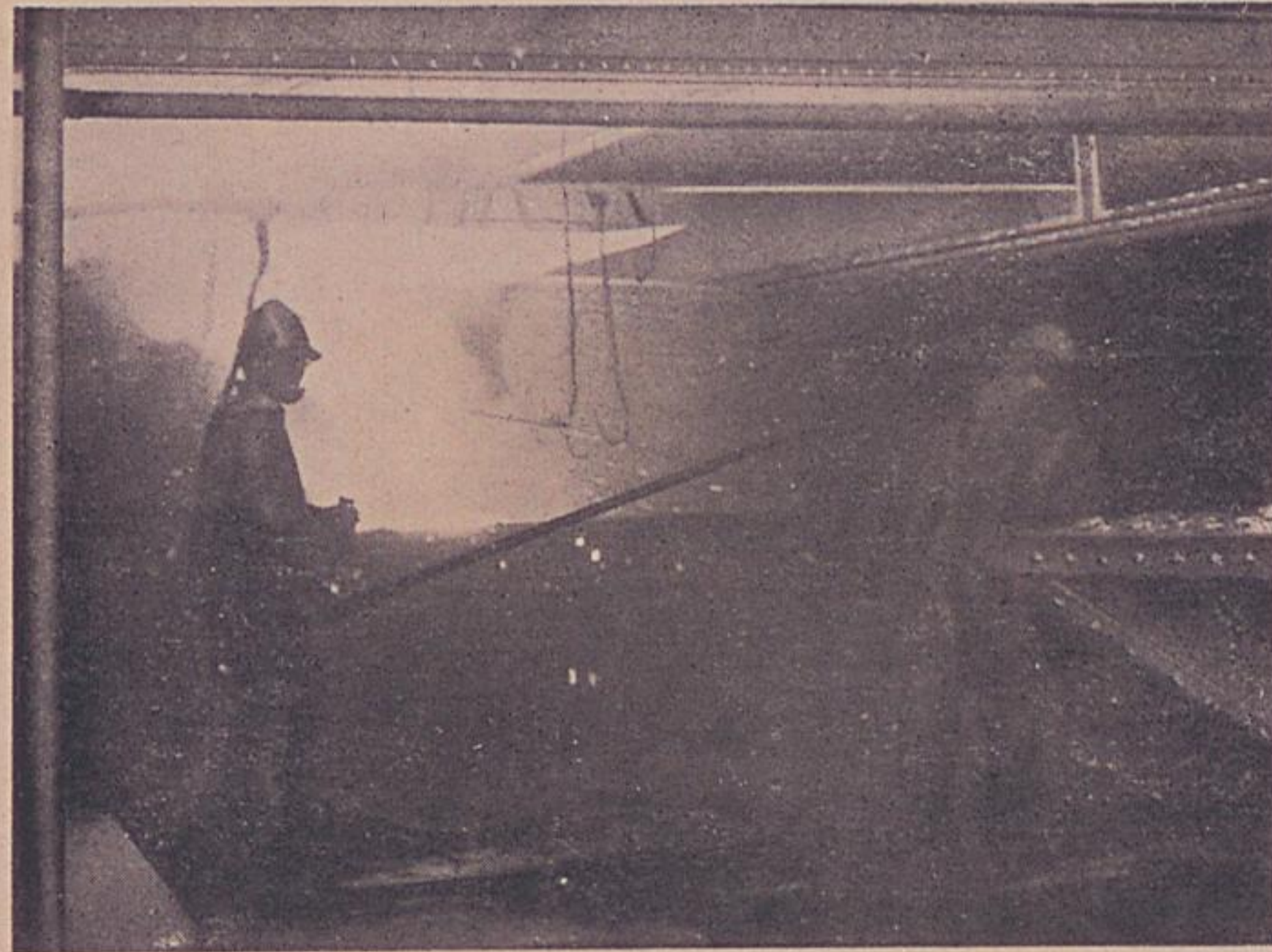
部一ノ場工二第

アルミニウムハ國防上産業上缺ク可カラザル重要資材タルコトハ敢テ贅言ヲ要セザル所ナリ殊ニ概近ノ國際情勢ノ推移ニ鑑ミルトキハ國産原料ニヨルアルミニウム精煉事業ノ確立ヲ圖ルハ國家的喫緊ノ要務ト謂ハザル可カラズ

我社ハ滿洲國內ニ豊富ニ埋藏スル礬土頁岩ヲ始メトシテ凡ソアルミニウムノ製造ニ必要ナル諸原料ハ總テ國內ニ於テ自給自足スルノミナラズ國內ニ存スル豊富ニシテ低廉ナル電力ヲ使用スル純國産アルミニウム製造會社トシテ康徳三年（昭和十一年）十一月二日勅令第百六十號

五 目的及沿革

- 一、アルミニウム素材ノ製造並ニ販賣
- 一、鹽酸、晒粉、珪素鐵ノ製造並ニ販賣
- 一、滿洲國經濟部大臣ノ認可ヲ經タル附帶業務



部一ノ場工一第

- 一、アルミナ及アルミニウムノ製造並ニ販賣

監	監	理	理	理	理	理	理
事	事	事	事	事	事	事	事
大	齋	矢	石	岡	山	世	高
塚	藤	部	田	崎	田	良	崎
	達	忠	親	直	直	正	鐘
敷	彦	治	城	喜	介	一	之助

三 役員



岩 頁 土 礫 料 原

「滿洲輕金屬製造株式會社」ニヨリ滿洲國特殊法人トシテ同年十一月十日設立ヲ見タルモノナリ當初ハ滿洲國政府及南滿洲鐵道株式會社ヨリ投資ヲ受ケタルモ康德五年（昭和十三年）三月滿洲重工業開發株式會社ノ傘下ニ編入サレ現在ニ到レリ

六 我 社 ノ 現 況

當社撫順工場ハ康德四年（昭和十二年）六月着工シ翌康德五年（昭和十三年）六月第一次建設完了シ爾來製造ヲ續行ス

次テ第二次第三次増産計畫ニ着手シ既ニ第二次増産計畫ハ全ク完成シ日滿兩國ヲ通ジ眞ニ唯一ノ國産アルミニウム製造會社タル使命ノ達成ニ邁進シツ、アリ

年産 量 約 四 千 トン
現在 一 万 トン



鐵 素 珪

七 原 料

(1) 礫 土 頁 岩

當社アルミニウム製造ノ原礦石ニシテ主トシテ煙台小市、牛心台等ノモノヲ使用ス

(2) 電 力

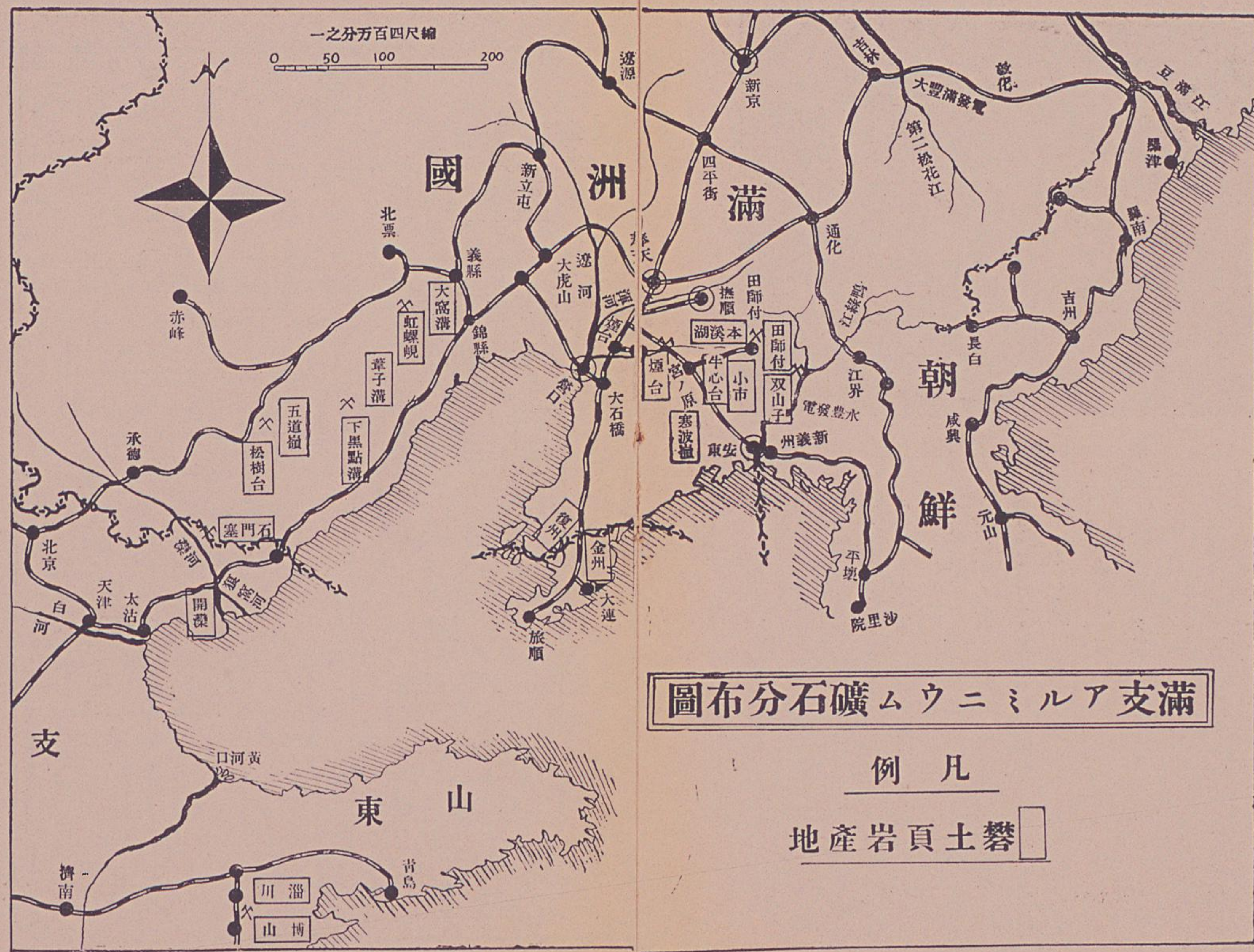
本事業ノ生命タル電力ハ目下撫順炭礦發電所ヨリ供給ヲ受ケ居ルモ將來ハ更ニ低廉豐富ナル水力電氣ノ供給ヲ受クル豫定ナリ

(3) 氷 晶 石

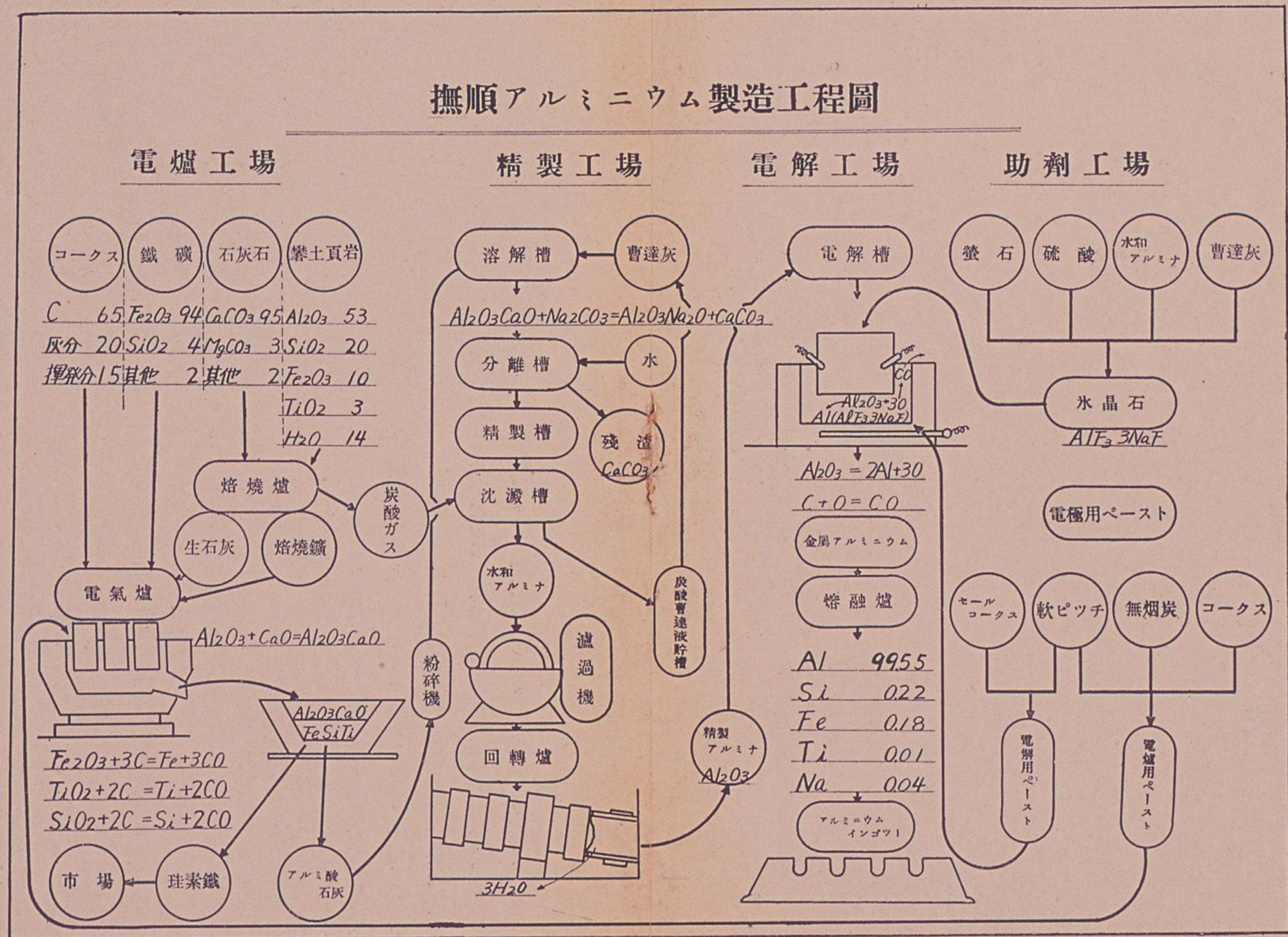
滿洲産螢石ヲ以テ自家製造ス

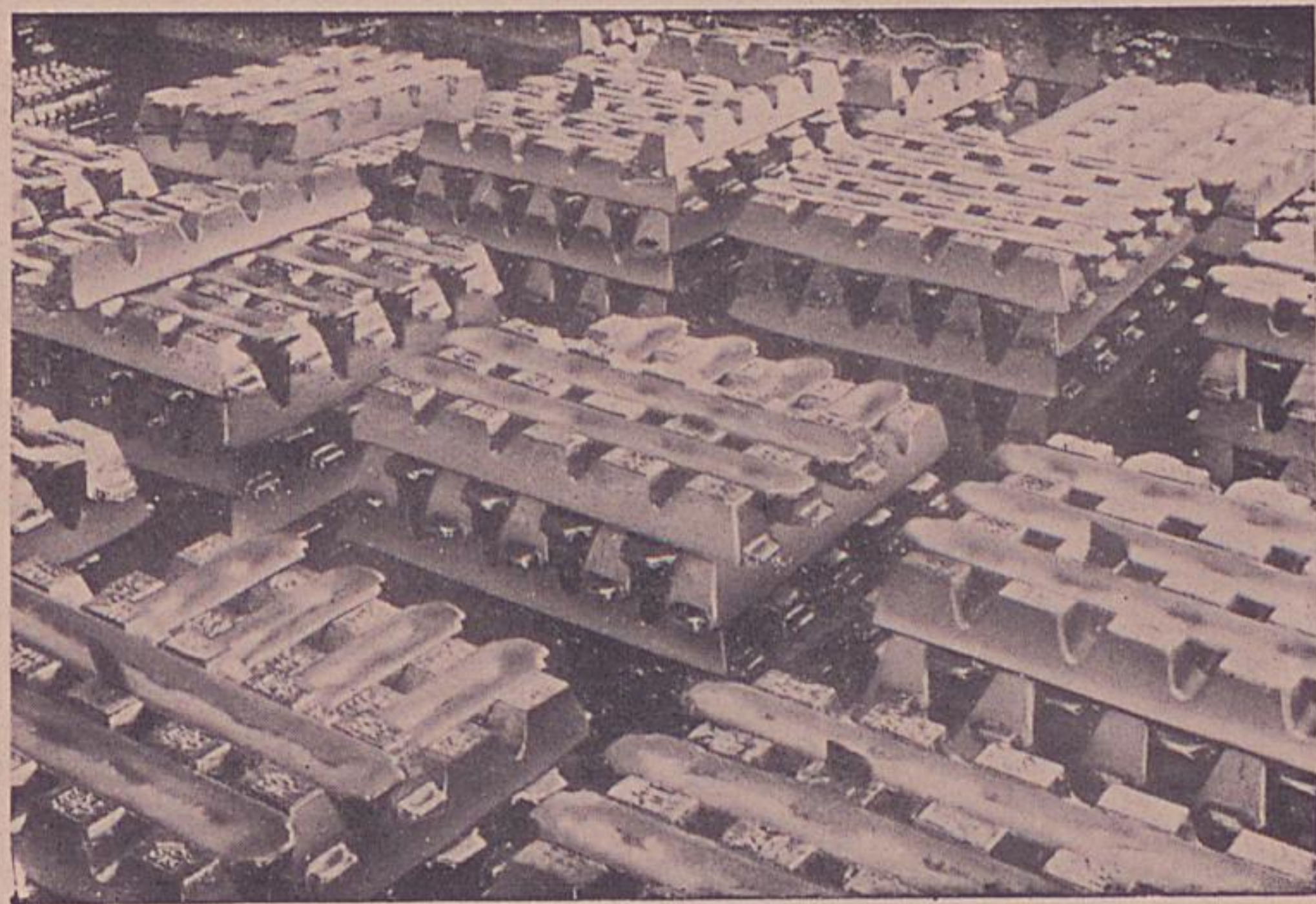
(4) 電 極

撫順製油工場ノ「無灰セーブルコークス」及在滿製鐵所ヨリ産出スル「タール」ヲ使用自家製造ス



撫順アルミニウム製造工程圖





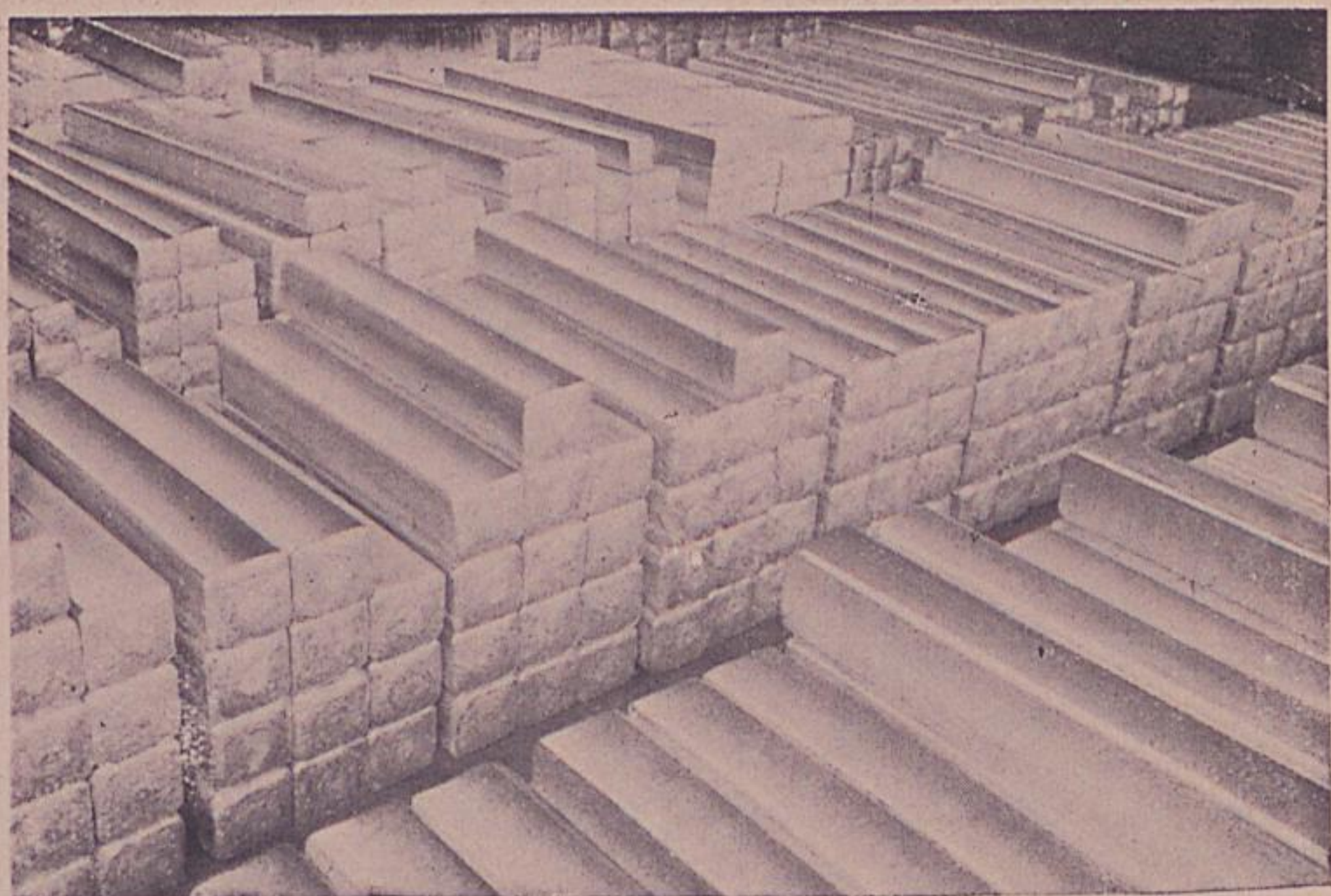
塊ムウニミルア

九 生 産 品

當社ニ於ケル主要生産品及其ノ用途ヲ記セバ次ノ如シ
 (一) アルミニウムインゴット及ワイヤーバー
 攀土頁岩ヨリ製造セル當社純國産アルミニウムノ
 品位ハ大部分九九、五%以上ノ高級品ニシテ其ノ分析
 ノ一例ヲ示セバ左ノ如シ

アルミニウム	九九・五五%	珪素	〇・三三%	鐵	〇・一八%	銅	一・〇〇%	チタニウム	一・〇〇%	ナトリウム	一・〇〇%
--------	--------	----	-------	---	-------	---	-------	-------	-------	-------	-------

當社地金ハ各大學研究所等ニ於テ試験研究ノ結果高級
 輕合金材料トシテ極メテ好適ナルコトヲ證明セラレ更ニ
 昭和十四年三月陸軍航空技術研究所ヨリ「航路アルミニ
 ウム地金第一號ニ相當シ規格ニ十分適合スルヲ以テ航空
 機用トシテ實用ニ供シ得ル」旨ノ判定ヲ得タリ



電線用ワイヤーバー

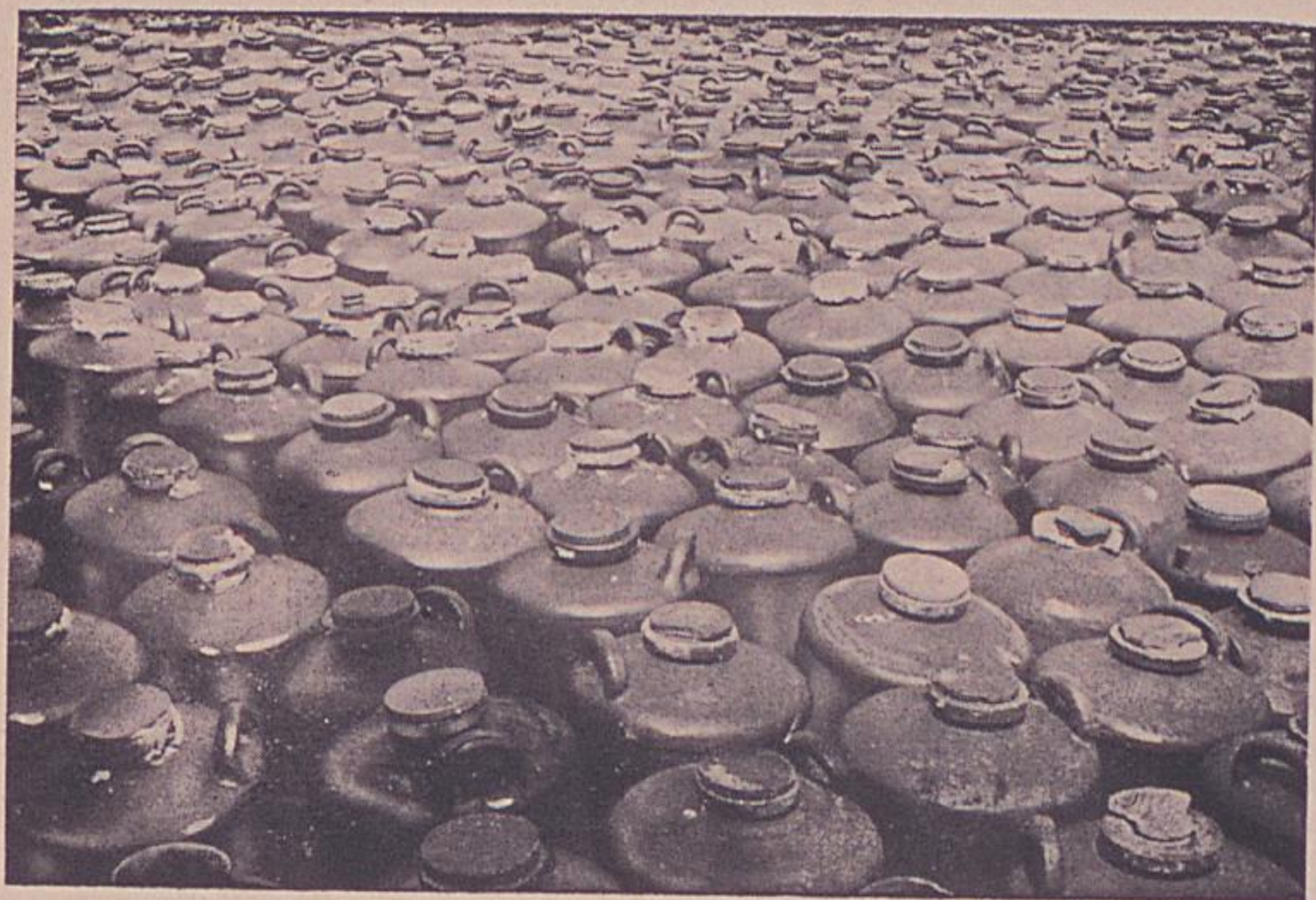
送電線用ワイヤーバーノ鑄造ハ東洋ニ於テ最初ニ着手
 成功セルモノニシテ其ノ電氣的並ニ機械的性質ハ左記ノ
 如ク極メテ優秀ニシテ滿洲國電力資源開發上銅送電線ニ
 代リ重要ナル任務ヲ果シツ、アリ當社アルミニウム高壓
 送電線ノ大陸ノ山河ニ碧空ヲ截リ架設セラレ居ル有様ハ
 近代滿洲ノ誇ル一ノ景觀タルヲ失ハズ

當社ワイヤーバーヨリ製造セルアルミニウム送電線ノ性質

抗張力 (kg/mm ²)	一七・九八	導電率	六一・九三%
---------------------------	-------	-----	--------

(滿洲某社ニ於テ試験セル平均)

當社アルミニウムハ航空機材ノ他送電線、電氣化學
 機械器具、家庭用器具、製鋼脫酸劑、塗料、爆藥、貨
 幣等ニ使用セラレ需要者ニ對シテハ經濟部ノ指令ヲ俟
 チテ當社ニ於テ直接配給ヲ行ヒツ、アリ



鹽

酸

(一) アルミニウム素材

現下國內産業開發計畫ノ進捗ト各種金屬加工工業方面ニ對スルアルミニウムノ劃期的進出トニ依リテアルミニウム素材ノ需要ハ頓ニ激増シツ、アル實情ニ對應スベク當社ハ曩ニ政府ノ認可ヲ得テ鋸、棒、線、條、管、型材等ノアルミニウム素材工場ヲ設置シ既ニ一部操業ヲ開始セリ

(三) 珪素鐵

當社副産珪素鐵ハ珪素約二十六%ヲ含有シ鑄物、再生鉄製造用・製鋼脫酸劑トシテ使用セラレ内外各方面ヨリ好評ヲ受ケツ、アリ

當社副産珪素鐵平均分析表(%)

珪素	鐵	アルミニウム	チタニウム	合計
二六・二七	六二・一一	六・四四	四・二七	九九・〇九



晒

粉

(四) 鹽酸

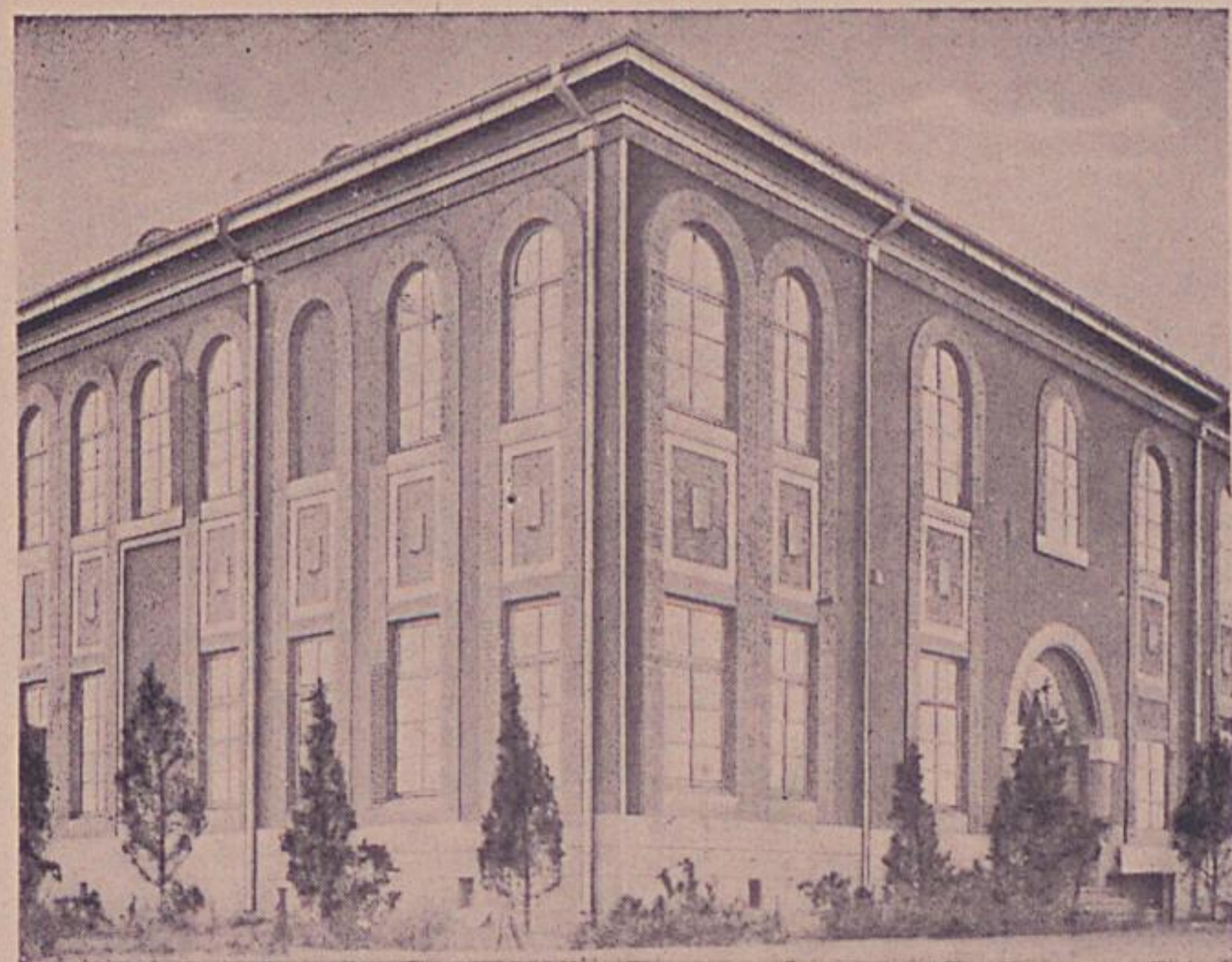
當社製品ハホーメニ度ノ合成鹽酸ニシテ主トシテアミノ酸製造用(醬油業)鍍金用染色工業用ハ絹パルプ製造用・製糖・化學用及一般工業用ニ使用サレツツアリ

(五) 晒粉

當社晒粉ハ有效鹽素平均三十五%ニシテバルブ、綿製品、漂白用、清涼飲料水殺菌用、其ノ他一般消毒用ニ使用セララル

十福社施設

當社ハ撫順市ノ工業區ニ位置シ市街ト離レ居ル爲有家族者社宅、獨身者社宅及其レニ附屬スル福祉設備等ニ付イテハ特ニ注意ヲ拂ヒ消費組合病院等其ノ設備完



病 院

備セリ

十一 養成機關

(1) 従事員養成所

當社ハ優秀ナル技術員ヲ養成センガ爲メ従事員養成所ヲ設ケ中等學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メラル、者ヲ一年間入所セシメ之ヲ機械科、電氣科、應用化學科及冶金科ノ四科ニ分チ社業ニ必要ナル知識技能ノ教授ハ勿論團體精神ノ涵養並ニ品性ノ陶冶ヲ圖リ將來工場ノ中堅従事員タラシメントス入所實習生ハ總テ寮ニ收容シ會社ヨリ被服、教科書、學用品、食費其ノ他ヲ支給又ハ補助シ尙毎月手當ヲ給與ス

(2) 青年學校

當社ハ青年ノ心身ヲ鍛鍊シ德性ヲ涵養スルト共ニ職



社 宅 ノ 部

業及實際生活ニ須要ナル知識技能ヲ授ケ國民タルノ資質ヲ向上セシムル目的ノ下ニ康徳七年(昭和十五年)二月滿洲國駐劄特命全權大使ノ認可ヲ得『私立撫順輕金屬青年學校』ヲ設立シタリ同校ハ之ヲ本科及研究科ニ分チ本科ハ四年制研究科ハ二年制トシ入學者ニハ總テ會社支給給料ノ他ニ被服費ヲ補助シ尙入寮者ニ對シテハ食費ニ付補助ヲ爲ス

十二 體育施設

従事員ノ保健及體位向上ノ爲メ柔劍道、相撲ハ勿論陸上競技、野球、籠球、サッカー、ラケット等ノグラウンド並ニ冬期スケート場ノ諸施設完備セリ

十三 關係會社

(1) 滿洲マグネシウム工業株式會社
康徳五年七月上旬子會社トシテ營口ニ資本金壹千萬



部一ノ宅社身獨

開ヲ以テ滿洲マグネシウム工業株式會社ヲ創立セリ
 金屬マグネシウム製造ノ主要原料タル「マグネサイ
 ト礦」ハ大石橋一帶ニ埋藏量數十億噸ト云ハルル礦床
 ナ持チ其ノ礦床ノ雄大ナル其ノ品位ノ優良ナル正ニ世
 界第一ト稱セラレ又補助原料タル「苦汁」モ自家鹽田ト
 近クノ營蓋鹽田ヨリ豊富ニ供給セラレ之等天賦ノ資源
 ナ會社獨特ノ製法ニ依リ最モ經濟的ニ且ツ豊富ニ開發
 セントスルモノニシテ同社ノ使命亦重且大ナルト謂フ
 ベキナリ

(2) 撫順セメント株式會社

康德五年撫順セメント株式會社増資ニ際シテ貳百五
 拾萬圓出資セリ

(3) 安東セメント株式會社

康德七年三月下旬子會社トシテ安東ニ小並八百萬
 圓ヲ以テ安東セメント株式會社ヲ創立セリ

康德七年十二月十五日印刷
 康德七年十二月二十日發行

【非賣品】

編輯人 撫順市松岡町四丁目 朝 日 清 太 郎
 發行人 撫順市松岡町四丁目 明 坂 謙 一
 發行所 撫順市山本町 滿洲輕金屬製造株式會社
 奉天市大和區信濃町二三番地
 印刷人 小 島 久 義
 奉天市大和區信濃町二三番地
 印刷所 滿洲中央印刷株式會社

